

# 国際反帝集会開く

## 外国代表は6日に講演会

### 3日 本学記念館で

共産主義者同盟  
・社会主義学生同盟主催による第二回国際反帝集会が三日午後五時から約二〇〇名を集めて本学記念館講義室で開かれた。

集会はまずフランスの五月革命とアメリカの非法組織「ブラック・パンサー」の姿態を取らせた映画が上映された。その後、共産同盟から「十一月をマッセン・ストライキで闘い抜き、七〇年代闘争を歴史的に切り開こう」との基調演説がなされた。共産同盟からは「十一月には赤ヘルメットが学生戦線に先頭を切って戦っている」という連帯の挨拶がなされた。しかし、引き続き行なわれる予定であったアメリカのDRS、ドイツのDRS、ブラック・パンサー各代表による講演は都合により延期となった。集会はこの後、再び映画「米コロムビア大学紛争」を上映し、九時過ぎ、西川敏雄本学学生会中執委部長の指揮によるシュプレヒコールとインターлюдで幕を閉じた。約二〇〇名の学生は閉会後、本学助産所で激しいシグザグキモをくり返した。

なお、各外国代表の講演は六日午後一時から記念館で行なわれる予定である。

この国際反帝集会は、八月十五日から九月十日までの二十七日間（うち九月三日までは秘密会議）東京・大阪・仙台で開催されるもので、青年・学生の国際的連帯、国際的闘争の展開を目的に昨年八月に結成されたものである。

①世界革命の戦略②軍事戦略・運動方針③組織論④各国個別的問題・国際的組織⑤三面の統一行動⑥NATO問題⑦10の国際反帝統一闘争、六下十の問題などが議題である。

なお、昨年は本学で中大など会場に八月一日から五日まで開かれた。

この国際反帝集会は、八月十五日から九月十日までの二十七日間（うち九月三日までは秘密会議）東京・大阪・仙台で開催されるもので、青年・学生の国際的連帯、国際的闘争の展開を目的に昨年八月に結成されたものである。

①世界革命の戦略②軍事戦略・運動方針③組織論④各国個別的問題・国際的組織⑤三面の統一行動⑥NATO問題⑦10の国際反帝統一闘争、六下十の問題などが議題である。

なお、昨年は本学で中大など会場に八月一日から五日まで開かれた。